

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第4回 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	平成27年9月17日(木) 午後3時 ～ 午後5時
開 催 場 所	市役所3階 301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：委員6名 欠席者：内野委員
議 題 等	1 報告 (1) 第3回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について 2 説明 (1) 第3回推進委員会における確認事項について 3 議題 (1) 基本目標2の施策について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	1 報告 (1) 第3回推進委員会の会議要旨について承認 2 説明 (1) 特になし 3 議題 (1) 市としての課題整理を行い、事業の見せ方を検討する。 (2) ・第5回推進委員会は10月6日(火)午後7時からとする。 ・施策に対する意見は10月23日(金)までに事務局にいただく。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 (1) 第3回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について (事務局) 第3回会議要旨を用いて第3回会議の概要について説明 (一 同) 会議要旨を承認する。 <結論> ・第3回推進委員会の会議要旨について承認する。 2 確認 (1) 第3回推進委員会における確認事項について (事務局) 子育て情報サイトと予防接種ナビとの連携の可能性、武蔵村山市の子ども子育て支援施策の取組状況について説明 3 議題 (1) 基本目標2の施策について (事務局) 基本目標2の具体的な施策1(2)「子どもとの快適な外出」について説明 —質疑・意見等— (会 長) 「赤ちゃん・ふらっと等の周知」のKPI「アクセス数」とは何を指しているのか。 (事務局) 子育て情報サイトに掲載した記事へのアクセス数である。 (会 長) 周知も大切であるが、ニーズがある場所に設置されているかどうかも重要である。KPIはアクセス数より赤ちゃん・ふらっと等が十分に設置されていないのであれば、場所の数の方が妥当ではないか。

	<p>(副会長) 課題にはスペースがないと書かれているので、その対策であれば場所の確保や施設の充実が目標になるのではないかな。</p> <p>(事務局) スペースがないのは屋外にないという意味である。屋内での赤ちゃん・ふらっとは市内に11か所ある。</p> <p>(会長) 十分という認識か。多いのか少ないのかわからない。</p> <p>(副会長) 利用状況は把握しているのか。有効に活用されているかどうかの検証は必要だろう。</p> <p>(事務局) 利用状況は把握していない。</p> <p>(委員) 数を増やすことは考えていないのか。</p> <p>(会長) 市民からの要望はないのか。また、武蔵村山市が親子連れで外出してほしい場所があれば、そこに赤ちゃん・ふらっとを作るといった考え方も出てくるのではないかな。</p> <p>(事務局) 屋外でのイベント時に移動式赤ちゃんの駅を設けることは予定している。</p> <p>(委員) 赤ちゃん・ふらっとは日曜日に利用できるところが少ない。</p> <p>(委員) 親子連れは児童館によく行くと思うが、授乳室がないので、設置されるとよい。</p> <p>(事務局) 協働事業の枠組みで、児童館の空いている時間を有効活用して子育ての拠点にしようとしている。授乳室のようなスペースの要望も出てくる可能性はあるだろう。</p> <p>(委員) 自分の所属するNPOで、午前中に児童館で読み聞かせなどの事業を行っている。親子の居場所になることを目指しているが、そのためには授乳室があることが望ましい。</p> <p>(委員) 日曜日に利用できないまま周知に取り組むよりも、日曜日に利用できるようにするなど、使い勝手を向上させてはどうか。</p> <p>(事務局) 利用頻度は調べた方がよいかな。</p> <p>(会長) 把握できればよいが、利用者は好ましく思わないだろう。それよりも設置数を増やし、認知してもらうことが重要である。市民の行きたいところ、市として人を呼びたいところに設置するのが望ましい。</p> <p>(委員) 図書館に授乳スペースがないことは残念である。学力向上も目標とするのであれば、0歳から図書館に通えるような環境づくりが大切ではないかな。</p> <p>(事務局) 基本目標2の具体的な施策1(3)「親と子の居場所づくり」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) 絵本の読み聞かせは多数やっていると思うが、どの事業を指しているのか。</p> <p>(事務局) 子どもカフェを運営しているNPOへの委託事業のことである。</p> <p>(委員) 平成27年4月から毎月2回、1回につき1時間程度の読み聞かせを行っている。参加者は毎回10～15組(20～40人)程度である。</p> <p>(委員) 現在の参加者数で年間200人を超える見込みなので、目標値を高くしてはどうか。また、子育て情報サイトで周知した上でアクセス数を目標にしてはどうか。</p> <p>(事務局) アクセス数は把握できると思う。参加者の目標値は検討する。</p>
--	--

	<p>(副会長) 目標とする参加者数は子どものみの数か。</p> <p>(委員) 頭数である。親子で参加したら、親もカウントする。</p> <p>(副会長) 現在は開催場所が2か所のみだが、場所を拡大することは考えているのか。</p> <p>(事務局) 出張形式をとって、希望があれば、それに応じて実施することになる。</p> <p>(委員) 「絵本の読み聞かせ事業」だけでなく、図書館でのおはなしの会も含めてもよいのではないか。</p> <p>(委員) 図書館で読み聞かせボランティアを育成したこともあったようだが、活動する場所がないと聞いたことがある。</p> <p>(事務局) 図書館との連携の必要も認識されていると思う。ボランティア育成講座参加者への機会提供は必要だろう。</p> <p>(委員) 「児童館の子育て支援拠点化の推進」という事業で児童館1館が目標とされているが、どこの児童館を想定しているのか。</p> <p>(事務局) 市民協働の事業を本格的なものにすることを予定している。</p> <p>(委員) 根本的な意見になるが、全体的に総合計画から引き写している内容である感じがある。国に提出しても受理されないのではないか。施策が網羅的になることは分かるが、焦点を絞って打ち出すことも必要だ。武蔵村山市の強みを把握した上で、それを伸ばすための取組を考えた方がインパクトが出るのではないか。</p> <p>(事務局) 総合計画と総合戦略を同時に策定している。</p> <p>(委員) 武蔵村山市として重点的に考えていることが何かがよく分からない。</p> <p>(事務局) 継続して取り組んでいる事業を総合戦略に掲載するのではなく、今後充実させるものを重点事業として掲げた方がよいということか。</p> <p>(委員) 市民に対する見せ方だと思うが、特に伝えたい施策に絞られてもよいのではないか。武蔵村山市が目指している方向性が見えるとよい。</p> <p>(会長) ターゲットを明確にして、それに向けた事業を検討するのであれば議論もしやすい。市の立場としては、明確にしにくいかもしれないが、何らかのメッセージを伝えることで事業の立て方や重点の置き方が変わるだろう。</p> <p>(副会長) 市として資料の構成を根本的に変更することは難しいだろうが、事業の重要度もあると思うので、それを示すだけでも変わるだろう。今のままだと全て並列的に見えてしまい、分かりにくい。見せ方をどこまで工夫できるのか。</p> <p>(事務局) 現状、各課から現在取り組んでいる事業を取りまとめているので、的がぼれていないのは事実だろう。現在の施策体系を再構成することは時間的に難しいが、事業の整理は可能である。</p> <p>(副会長) 事業の中で優先順位を付けるだけでも変わると思う。評価の際にも全ての事業を同じように評価するのではなく、重点項目の目標が達せられたかどうかの基準は異なってくると思う。評価基準を意識しつつ、優先順位は付けておくべきではないか。</p> <p>(委員) 武蔵村山市の学力は都内で最も低く、子どもの健康度(肥満・虫歯)も最下位である。子どもの貧困問題とも無関係ではないと思うので、学校だけでなく、未就学児</p>
--	--

	<p>のころから取り組まないといけない。その先の就職・収入、ひいては税収にまで関係する問題である。</p> <p>(事務局) 学校教育に関しては対策が必要で、教育委員会でも取り組みはしている。学力向上につながる施策を未就学児のころから体系立ててやっていくべきという意見だと思うが、その視点は欠けていたかと思う。</p> <p>(委員) 近隣自治体と比較しても市民の所得が低く、生活保護の受給率は高い。市としては問題として捉えているのか。学力とは関連している部分だとは思っているので、このようなポイントに絞って施策を検討してはどうか。</p> <p>(事務局) 貧困家庭に生まれた子どもの貧困の連鎖は課題視しており、学習支援事業は検討段階にある。なやみごと相談窓口は今年度から設置している。</p> <p>(委員) 武蔵村山市が抱えている問題を少しでも解決につながるような取組を総合戦略で見せた方がよいのではないかと。</p> <p>(事務局) 基本目標2の具体的な施策2「子育て、子育てと子ども家庭を支援するまちづくりプロジェクト」、(1)「子育て・子育ての支援」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(副会長) 「巡回指導・相談事業の実施」の「年1施設1回以上」という目標が適切なのか。施策の見せ方を検討した方がよい。</p> <p>(委員) ひとり親家庭への支援が取り上げられていないが、取組はないのか。</p> <p>(会長) 全国的に母子家庭で生活保護を受けている世帯は多いと思うが、武蔵村山市はどのような状況で、母子家庭の母親が働きやすい環境にあるのか。子どもが病気になったときに母親が仕事を休まざるを得なくて、所得が下がるという問題が生じる。各種保育事業の充実を図ることで、働きやすくなり、所得が上がり、貧困率が下がるというような形にすると説得力が増すのではないかと。</p> <p>(事務局) 事業の見せ方が重要である。同じ事業でも切り口で見え方が変わる。</p> <p>(会長) 直接的な支援だけでなく、延長保育が結果的にひとり親家庭の支援につながりもする。課題を整理することで施策の優先順位を付けると、見え方が変わるのではないかと。</p> <p>(委員) 市民全員が満足する施策はないと思うので、個別事業は増えていくことは理解できる。ただし、市としての課題を示した上で、その課題に取り組むための施策を優先的に打ち出すことが必要だと思う。</p> <p>(事務局) 基本目標2の具体的な施策2(2)「妊娠から出産、育児の切れ目のない支援」について説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) 「ネウボラ」という言葉を使った方が分かりやすいのではないかと。</p> <p>(会長) 子どもの健康度が最下位だという話があったが、育児のアドバイスが必要な部分である。虐待に近いのは、肥満や虫歯に表れると言われている。健康や歯について、保護者にアドバイスできるような事業に力を入れるべきではないかと。</p>
--	--

	<p>(委員) ネグレクトの問題も取り上げられていない。母親の発達障害があることも考えられるので、母親に対する相談体制をつくるだとか、ネグレクトがまた貧困につながる等の負のスパイラルを断ち切るために切れ目のない支援を行う必要がある。健康だけではない包括的な視点で考えてもらいたい。</p> <p>(副会長) 和光市は先駆的な取組をしているようである。良い行政のモデルケースがあるのであれば、情報収集して、できるものから取り入れていくことも一つの手である。最終的なゴールに対して個々の施策の位置づけを行うことで、施策単位の相乗効果が出るのではないか。ゴールを明確にし、それを目指して取り組んでいくことが望ましい。</p> <p>(委員) 市役所だけが取り組むのではなく、市民と協働することで解決に向かう地域問題もあると思うので、市民参加型での事業があるとよいと思う。</p> <p>(事務局) 事業を絞るとか、ストーリーをつくるといった意見を踏まえて、事業や戦略の組み直しを検討していきたい。</p> <p>(2) その他</p> <p>(会長) 第5回会議は10月6日(火)午後7時からとする。</p> <p>(事務局) 推進委員会は第6回までとさせていただくが、施策の検討は終わらない見込みである。会議で検討できなかった部分については、10月23日(金)までに事務局に意見をいただきたい。最終的に会長と事務局とで整理させていただく。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u> 0 </u>人</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：) </p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財務部 企画政策課(内線：374)</p>
--------------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)